



福岡県小郡市大板井1143-1

電話番号 0942-72-7221

FAX 0942-72-7222

そら

発行人

こぐま福祉会編集委員会

<http://www.koguma.ed.jp>

こぐま・しろくま・ゆう運動会



たのしかったね！運動会♪

十月二十七日(日)、大原小学校体育館にて、こぐま・しろくま・ゆう運動会を開催しました。今回は全七グループで、ご家族の方を含め総勢三百人以上の参加となりました。

当日は、晴天に恵まれ、子どもたちやご家族の笑顔や歓声が体育館いっぱいに溢れる一日となりました♪

年長児によるオープニングセレモニーに始まり、グループのダンスや競技を行いました。今回も、子どもたちは伸び伸びと自分の力を存分に発揮してくれました。子ども達に負けず、ご家族参加の玉入れは、一所懸命で一丸となりました。そして、特に白熱したのが、親子競技！お父さん、お母さんの必死な姿に、子どもたちも周りのみなさんも共に熱くなりました！

最後に子どもたちは、メダルをもらい、達成感いっぱいの笑顔を見せてくれました。たくさんの方々のご参加、ご声援、本当にありがとうございました。

(運動会係 立山亮)

心の窓



生活介護事業所
べあクラブ
かみむら あやと
上村 亜也人さん

《救急の日から二十一年が過ぎて》
亜也人は、一歳の平成四年九月九日に池に落ちて溺れました。発見して、蘇生しながら病院に行きた事を鮮明に覚えています。私は、状況を受け入れる事が出来ませんでした。タイムマシーンで、あの時に戻り、助けに行けないか、なぜこんな事になったのかと悩みました。心は、後悔で深い悲しみの底に沈みました。そんな時に、親、親戚、友人、知人とたくさんの人が、助かるように祈ってくださいました。私も、『どんな状態でも受け入れるので、命だけは助けて下さい』とお願ひしました。

一ヶ月が過ぎる頃には、泣いてい

る暇はありませんでした。後遺症がひどく、泣きも笑いもしない、呼吸を自力でやっとしていた状態なので病院で付添い、世話におわれました。生きていく事が希望でした。

こぐま学園を紹介されて、訓練と療育を受けるために母子通園しました。こぐまの先生らは、優しく、暖かく、熱心で、救われる思いでした。緊張が取れて、よく笑い、大声を出せるようになりました。

養護学校に行く頃には、病状も落ち着き、長崎県平戸市の祖母の家に引っ越ししました。養護訓練を受けさせる為に、家から四十六キロの道程を通いました。高校までは良かったのですが、卒業すると行く所がなくて困りました。

家庭の事情で、十六年ぶりに引っ越してきました。こぐまのべあクラブに四月から、週二日通っています。以前と変わらない建物と暖かく迎えて下さった先生方に、感謝の気持ちでいっぱいです。べあクラブに行くと、亜也人の穏やかな笑顔を見ると、良かったと思います。そして、私達家族も、救われたと思います。これからも、よろしくお願ひします。

(上村 亜也人の母)



こぐまLINE



作業療法士
おおしま みさ
大島 美沙

こんにちは。作業療法士の大島美沙です。こぐま福祉会で働き始めて三年目になりました。何の事を書かせて頂くかと思いましたが、このこぐま福祉会で働くまでのことを書きたいと思います。

私が作業療法士になろうと思ったきっかけは母でした。高校生の頃の私は、将来やりたいと思えるものがなく、進路の話をされる度に困っていました。なんとなく子どもと関わることがしたいという気持ちはあったのですが、『この職業に就きたい!』と思えるものがありませんでした。そんな私に、母は色々な職業を見つけてきて、私に紹介をしてくれました。たくさん紹介されても、これと言って惹かれる職業もなかったのですが、ある時「作業療法士って仕事があるらしいよ」と言われました。母が作業療法士を紹介したきっかけはオレンジデイズというドラマ。主役の妻木木聡が作業療法士の役だったため、紹介したようです。いつもと変わりない母親の職業紹介。でもなぜか「それだ!」と思えたのです。今でも、あの時の感情が不思議で

たまりません。そんなきっかけで、作業療法士の学校に行き、このこぐま福祉会で働き始めました。でも、今まで作業療法士にならなければよかったなんて思ったことは一度もありません。それだけやりがいのある、楽しい職業だと思っています。

私がこぐま福祉会で働きたいと思ったのは、子どもと関わる仕事があったから。それはずっと漠然と抱えていた思いでしたが、大学生の時に入った『地域の子ども達とキャンプに行くサークル』が大きなきっかけとなりました。小学生の女の子と一輪車の練習をした時、何度も転びながらも、練習を繰り返すことで、少しずつ乗れるようになりました。私は今でも一輪車に乗れないし、大人になった今は、転ぶのが怖くて練習しようとも思いません。でも、何度か転びながら練習するその子の姿を見ていると、この子達は、ただでさるようになることだけを考えて色々なことに挑戦でき、たくさんの可能性があるので感じました。それと同時に、子ども達の挑戦する姿を見ていると、『自分も何かに挑戦できるかもしれない』という思いもありました。

こぐま福祉会で働き始めてから、たくさんさんの挑戦や、「できた!」に出会ってきました。それがとても嬉しくて、これからはもっと、子ども達の成長に携わっていきたいと感じています。

たいようグループ

放

課

後

等

テ

イ

サ

ー

ビ

ス

グ

ル

ー

フ

紹

介

つきグループ

現在、小学校1、2年生の10名が在籍しています。

『場所や物が共有できる』『友達とのやりとりが増える』『色々なものに対して体を工夫して使えるようになる』を目標に活動を行っています。

活動の前半は、ウォーミングアップの後、隣に座っている友達にタッチし、交代しています。タッチの順番や、力加減などを考えながらやりとりをしています。

後半では班に分かれ、制作や運動など様々な活動を行っています。制作では、道具を共有して使うことで、物の貸し借りや順番を経験します。運動では、友達や遊具に合わせて自分の体を動かし、集団活動の中で、友達と協力し、チャレンジします。

最初は友達とのやりとりにスタッフが入っていましたが、今はそれぞれに友達を意識し、やりとりする場面がたくさん増えてきています。

現在、小学校3年生の14名が在籍しています。

『他児と活動を共有して達成感を持てる』『場面に合った必要なこと(意見を述べる、援助を求める等)を言葉で伝えられる』『集団活動の中でも自分から周囲に働きかけることができる』を目標に、運動や制作・チームでゲームを行う活動をしています。

活動の前半に、ウォーミングアップとして体を動かす活動を行い、後半は、2つのチームに分かれ、風船バレーやドミノ倒し等、各チームで協力して行っています。

後半のゲームでは友だち同士で練習し対戦する中で、友達と協力し合い応援するなど、白熱したゲームとなっています。

(グループ担当 牛嶋)

(グループ担当 西森)

みんなでおいしく
食べました♪



手作りおにぎりで
す☆

Work Step 余暇活動
十月十八日(金) 秋の風が心地よい中、Work Stepの余暇活動の一環としてパーベキューを行いました。自分達で計画を立て、肉や野菜の量や予算を話し合い、一人ひとり担当食材の値段を事前にスーパーへ行き調べました。
当日、買い物班は、安くて良い肉や野菜を選びを心掛け、火おこし班は、炭に火をつけるのに悪戦苦闘!自分で握った特大おにぎりを焼きおにぎりにしました。
食材を焼く時は火が熱くて大変でしたが、皆で協力して作った食事は、格別でした。(生活支援員 久佐木)

新遊具登場!

ペランダに新しい遊具がやってきました。

その名も『山のつり橋』です。長さは二メートル以上あり、山型の遊具で、鎖でつながれたスチールの棒を渡ってあそびます。子どもたちは新しい遊具に気付くのが早いこと!遊具が来た日から子どもたちの人気者で、新しい遊具に大喜び。職員が交通整理をしないと渋滞がおきるほどでした。



するとグラグラ揺れるので、足元を見ながら一歩ずつ慎重にバランスをとります。渡るスピードが速い子どもは、何度も繰り返すうちに少しずつ早く渡ることが出来るようになっていきます。渡り終えたときの達成感で満足そうな子どもたちの顔を見ると、こちらもうれしくなります。
今回、「子どもたちが喜ぶものに使ってください。」と保護者の方から寄付をいただき、遊具購入にいたしました。本当にありがとうございます。

(ゆう園長 林)

免疫アップで

寒い季節を乗り越えよう！

秋も深まり、これから冬を迎えるに当たり、用心しなくてはならないのが風邪の対策。最近になると風邪では収まらず、インフルエンザやウイルス性の風邪が猛威をふるうようになってきました。ウイルス対策は、うがい・手洗いはもちろん、免疫をアップするという事が非常に大事になってきます。

一番簡単な方法は『体を冷やさない』こと。これからの季節、冷たい物は極力控え、温かい物や体を温める作用のある物を食べるとよいでしょう。

そこで、体を温める生姜や蜂蜜を使った簡単レシピをご紹介します！

（生姜はちみつ上陽和紅茶）

◎材料 上陽和紅茶、生姜、蜂蜜

◎作り方 生姜をすりおろし、上陽和紅茶を濃いめに入れる。そこにすりおろした生姜とお好み量の蜂蜜を入れて良く混ぜ完成。

*眠る前に飲むのを勧めます。

秋は美味しいものがたくさん！

きのこや根菜、白菜や葱、牡蠣や鮭など旬のものをしっかり食べて元気づくりをしていきましょう。乾燥が厳しい時は、山芋や豆乳、牛乳などをちよっと温めて飲むと、温いた体を潤します。ぜひお試しください。

（元氣クリエイター 中村）

筑後川マラソン2013



心地よい秋晴れ

となった十月十三

日（日）、久留米市

で筑後川マラソン

大会が開催されま

した。こぐま福祉

会を利用されてい

る多数の方が参加

され、皆それぞれの

ペースで完走す

ることができまし

た。達成感に満ち

た皆の笑顔がとて

も素敵でしたよ！



ハンドサイクル体験教室&

研修会を行いました！

（理学療法士 小柳）

十月二十日（日）、NPO法人ア

ダプティブワール

ドとPAS主催に

てハンドサイクル

体験教室と研修会

を行いました。

午前の体験教室

では公園でみんな

と一緒に楽しく遊

びました。

午後からは斉藤

直さん、野村寿子

さんの講演で、多くの保護者やセラ

ピストが参加され、興味・関心の高

さを感じました。

（理学療法士 木下）



保護者学習会のお知らせ

①『婦人科疾患の早期発見と検診』

日程…十一月十四日（木）

時間…受付 九時四十分～

講演 十時～十一時半

講師…公益財団法人

福岡県すこやか健康事業団

保健師 池田 晶子氏

対象…こぐま福祉会利用者の保護者

場所…こぐま福祉会 アリーナ棟

（研修委員担当 横尾）

②『広汎性発達障害を持つ子どものための学習会』（全二回実施）

A日程…十二月三日（火）

テーマ…『広汎性発達障害とは』

講師…塩永淳子

（こぐま学園診療所所長・小児科医）

B日程…十一月十六日（木）

テーマ…『特性の捉え方』

講師…斉藤瑞穂

（こぐま福祉会 作業療法士）

【A・B共に】

時間…受付 九時四十五分～

講演 十時～十一時半

対象…未就学の広汎性発達障害を

持つお子様の保護者

場所…こぐま福祉会 アリーナ棟

（研修委員担当 菊地）

*申込方法…受付設置の各申込用紙

にご記入の上、受付又は、担当者

までご提出下さい。

*詳細は、各申し込み用紙をご参照

下さい。

もちつき大会案内

左記日程で、こぐま福祉会の恒例行事もちつき大会を開催します。

○こぐま福祉会

今年は、利用者の方や地域の方との交流の場として、休日に行います。

ぜひご家族お揃いでご参加下さい。

日程…十二月十五日（日）十時半～

場所…こぐま福祉会 園庭

※雨天決行（餅つき実行委員 一木）

○尾久保研修所

日程…十二月二十三日（月）九時～

場所…尾久保研修所

※雨天決行（みんなの館）

詳細は後日お知らせいたします。

新入職員紹介

よろしくお願ひします。



《受付》長野 成美



《総務》岡村 郷介

行事予定

十二月（火）こぐま・しろくま遠足

十四日（木）保護者学習会

「婦人科疾患の早期発見と検診に」

二十七日（水）・二十八日（木）

ゆう園外施設体験

《交流保育》

十三日（水）三国保育所

十五日（金）天使幼稚園

二十七日（水）五条保育所

味坂保育園